

平成 27 年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

創立 119 年目の歴史を有する本校の公立高校としての役割は、生徒・保護者・地域のニーズに応じた生徒の進路実現を図り、地域・社会に有為な人材を育成することにある。「進学指導特色校」と「スーパーサイエンスハイスクール」としての責務を理解し、さらに充実した教育活動の展開を図る。

■ 育てたい生徒像：岸高生の誇りを持った「爽やかで骨太」のグローバルに活躍するリーダー

■ 目標とする学校像：生徒・教職員がともに成長する「学びの時空間」

このような観点から、「教科学習だけでなく、すべての教育活動を通じ、生徒・教職員がともに成長する学校（学びの時空間）」をめざす。

2 中期的目標

1 確かな学力の育成

新学習指導要領を踏まえ、「充実した授業」をめざし、一層の授業改善に取り組む。

(1) 「充実した授業」をめざし、授業改善に取り組む。

ア 生徒による授業評価（年 2 回）を行い、教科別に授業公開週間と研究授業を設定

イ ICT機器を活用した教育の推進

ウ 英語の運用能力の向上

エ 土曜日を活用した講習・学習指導など、教科学習を補完する活動の充実

オ 進学指導特色校（GLHS）、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業の効果的な運営をすすめる校内組織の充実

カ 「岸高教育コレクション」（「解体新書」（初版本）などの文献、生物剥製・骨格標本、物理実験具、史料等）の活用

キ 「アクティブラーニング」の検討

※（生徒向け）学校教育自己診断における学校満足度や授業満足度80%以上をめざし、3年後に90%以上をめざす。

2 高い志をはぐくみ、進路実現をめざす取組み

殆どの生徒が4年制大学への進学を希望する本校にあって、充実した学校生活の結果として「進学」を捉え、進学実績のみを求めるのではなく、グローバルな世界に通じるとともに地域に対する深い愛情をもった高い志をもつ人材を育成する教育を推進する。

(1) GLHS、SSH事業を活用し、興味関心を高める教育活動を提供する。

ア 大学研究室見学や大学関係者・科学技術者・企業家等による出前講義・講演等による体験的キャリア教育を進展

イ 課題研究発表などプレゼンテーション能力の育成

ウ 海外・校内短期留学を組合わせたグローバルリーダー育成

(2) 現役での国公立大学進学者の合格者数を3年後に150人以上、あわせて難関大学や東京方面への受験者増をめざす。

※（生徒向け）学校教育自己診断における進路指導の満足度80%以上を維持し、3年後に90%以上をめざす。

3 豊かな感性とたくましく生きるための健康と体力をはぐくむ取組み

充実した学校生活こそが、卒業後の力の源になることから、学校行事・部活動等の一層の充実を図る。また、異文化交流による豊かな心と広い視野、通じる心とコミュニケーション力の育成を図る。

(1) 学校行事・部活動等の充実を図る。

ア 学校生活の充実と行事の精選

イ クラブ活動の奨励

ウ 社会人としての人権意識・マナーの醸成

※（生徒向け）学校教育自己診断における学校行事やクラブ活動の満足度90%以上を維持する。

(2) 多様性を感じる体験や異文化理解によるグローバル教育を推進する。

ア 国際交流、海外修学旅行（台湾）の充実

イ 海外交流校の発掘と交流

※（生徒向け）学校教育自己診断における国際（理解）教育の満足度80%以上を維持し、3年後に90%以上をめざす。

4 地域・保護者との連携と環境整備

全国の学校情報を収集し、地域や保護者に積極的に情報を発信する。また、学習環境の向上をめざし校内環境整備を継続する。

(1) 学校情報を収集し、地域や保護者に情報を発信する。

ア 全国の教育先進学校情報の収集

イ 学校Webページや校長ブログによる情報の発信

(2) 校内環境整備を継続する。

ア 学習環境の向上と校内緑化の推進

イ 地域への貢献を推進

※（保護者向け）学校教育自己診断における情報提供の満足度90%以上を維持する。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会からの意見】

| 学校教育自己診断の結果と分析 [平成 27 年 12 月実施分] | 学校協議会からの意見 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|------------|-------|-----|----------------|-------|-------|--------------------|-------|-------|---------------|-------|-------|--------------------|-------|-------|--------------------|-------|-------|--------------------------------------|-------|-------|-------------------------|-------|-------|-------------------------|-------|-------|------------------------------------|-------|-------|------------------------------------|-------|-------|---|
| <p>・学校経営計画で、評価指数としている学校教育自己診断の項目について</p> <p>◎1年2年3年3つの学年の合計 肯定的な意見の割合</p> <table border="1" data-bbox="163 391 873 943"> <thead> <tr> <th>質問項目</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入学して満足している (⊕)</td> <td>84.8%</td> <td>85.8%</td> </tr> <tr> <td>入学して満足して生活している (保)</td> <td>93.3%</td> <td>92.0%</td> </tr> <tr> <td>授業に満足している (⊕)</td> <td>74.5%</td> <td>79.1%</td> </tr> <tr> <td>学校行事に楽しく参加している (⊕)</td> <td>89.7%</td> <td>87.7%</td> </tr> <tr> <td>学校行事に楽しく参加している (保)</td> <td>96.6%</td> <td>96.1%</td> </tr> <tr> <td>土曜講習や千亀利セミナーに参加するなど学習時間として活用している (⊕)</td> <td>41.2%</td> <td>54.8%</td> </tr> <tr> <td>校長ブログで学校の様子が発信されている (⊕)</td> <td>77.2%</td> <td>76.8%</td> </tr> <tr> <td>校長ブログで学校の様子が発信されている (保)</td> <td>91.6%</td> <td>84.6%</td> </tr> <tr> <td>進路指導で講演会、説明会を実施するなど適切な指導を行っている (⊕)</td> <td>85.5%</td> <td>73.0%</td> </tr> <tr> <td>進路指導で講演会、説明会を実施するなど適切な指導を行っている (保)</td> <td>94.4%</td> <td>88.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>○生徒と保護者に同様の質問では、保護者の方が肯定的に捉えている傾向がある。</p> <p>○土曜講習や千亀利セミナーなど、土曜の午前活用は増加しているが、引続き検討する。</p> <p>○進路指導での講演会、説明会は変更していないが、減少の原因を分析したい。</p> <p>○国際交流など特色のある教育活動への取り組みに関しては(⊕)80%(保)92.5%となっており、国際交流に関しては、学校協議会での意見にあるように充実してきた評価されている。</p> <p>○困った時に、保健室や相談室等で気軽に相談できる。46.8% →60.3% と相談体制改編等生徒も相談しやすく感じてくれているようだが、さらに検討したい。</p> | 質問項目 | H26 | H27 | 入学して満足している (⊕) | 84.8% | 85.8% | 入学して満足して生活している (保) | 93.3% | 92.0% | 授業に満足している (⊕) | 74.5% | 79.1% | 学校行事に楽しく参加している (⊕) | 89.7% | 87.7% | 学校行事に楽しく参加している (保) | 96.6% | 96.1% | 土曜講習や千亀利セミナーに参加するなど学習時間として活用している (⊕) | 41.2% | 54.8% | 校長ブログで学校の様子が発信されている (⊕) | 77.2% | 76.8% | 校長ブログで学校の様子が発信されている (保) | 91.6% | 84.6% | 進路指導で講演会、説明会を実施するなど適切な指導を行っている (⊕) | 85.5% | 73.0% | 進路指導で講演会、説明会を実施するなど適切な指導を行っている (保) | 94.4% | 88.2% | <p>①第1回5月27日</p> <p>◎今年度の学校経営計画における重点事項について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業時に岸高が良かったと思えるような、豊かな感性を育てることが最も大切。 ・生徒の3年後の目標が固まっていることが大切。 ・入学してきた生徒を引っ張り上げることが、学校を良くする上で最も大切なこと。 ・学校としてベクトルを合わせるのは大切だが、どのように合わせるかが課題。 ・様々な取組みがあり、教員が倒れないか心配。教員のケアをお願いしたい。 <p>②第2回10月7日</p> <p>◎SSH 関連の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SSH の時期申請までの予定についての確認 11月 JST による説明会 12月構想および申請書提出 <p>◎夏期休業中の活動報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SSH～GLHS 関連の多様な取組み <p>◎土曜活用等自学自習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学3年次から入学後まで勉強時間の確保について 他府県の高校の実践を視察研究 <p>◎協議会委員さんからの情報提供</p> <p>新聞記事「英語ディベート 説得力磨く」(日本英語交流連盟会長)</p> <p>③第3回2月3日</p> <p>◎運動部員研修会報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1,2年運動部員対象の研修会の実施 「本番で力を発揮するためには」 ・意見交流会「部活動と勉学の文武両道をめざして」 <p>◎授業見学 1年英語・古典</p> <p>◎学校教育自己診断結果報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒対象 入学満足度が上昇。保護者対象 回収率が上がり、学校への期待が感じられる。教職員対象 授業力向上の取組みが活発になっている。 <p>◎グローバルリーダー養成プログラム(校内版)実施報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・留学生7名、本校生徒42名(昨年より7名増)実施期間も1日増の4日間。 <p>◎センター試験結果報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・80%以上の高得点者の数が昨年比1.72倍になった。 <p>◎第2回探究・SSH 生徒研究発表会実施報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各ゼミ代表6名の口頭発表とポスター発表(90本) ・保護者の見学の増加。TA(京都大学大学院生による研究サポート体制の導入)の開始。 ・発表が堂々とし、原稿を見ず行っている。英語での説明もあった。 ・テーマは、生徒が主体的に、評価はルーブリック評価を導入しつつある。 |
| 質問項目 | H26 | H27 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 入学して満足している (⊕) | 84.8% | 85.8% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 入学して満足して生活している (保) | 93.3% | 92.0% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 授業に満足している (⊕) | 74.5% | 79.1% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学校行事に楽しく参加している (⊕) | 89.7% | 87.7% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学校行事に楽しく参加している (保) | 96.6% | 96.1% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 土曜講習や千亀利セミナーに参加するなど学習時間として活用している (⊕) | 41.2% | 54.8% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 校長ブログで学校の様子が発信されている (⊕) | 77.2% | 76.8% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 校長ブログで学校の様子が発信されている (保) | 91.6% | 84.6% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 進路指導で講演会、説明会を実施するなど適切な指導を行っている (⊕) | 85.5% | 73.0% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 進路指導で講演会、説明会を実施するなど適切な指導を行っている (保) | 94.4% | 88.2% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

3 本年度の取組内容及び自己評価

| 中期的目標 | 今年度の重点目標 | 具体的な取組計画・内容 | 評価指標 | 自己評価 | |
|---------------|--|---|---|--|--|
| 1 確かな学力の育成 | (1) 「充実した授業」をめざし、授業改善に取り組む。 (継続) ア 主体的に授業を改善する | ア・「生徒による授業評価」を7月、12月に実施し、7月の結果をもとに授業改善シートで改善点を各自明らかにして授業改善に活かす ・教科別に1週間の公開授業週間を設定し、他教科(特に経験の少ない教員)への授業参観を促す。(継続) ・初任者や若手教員を育成するために、校長塾初任2年目3年目10年目教員の交流研修を行う。 ・教科指導のベクトルを合わせるための教科ごとの授業取組み計画表「岸高学びのスタイル」を作成する。 ・3年間のグローバルリーダー人材育成プログラムの作成(生徒に配布するために改定をう) ・アクティブラーニング生徒参加型の授業を研究する イ 校内での参考になる ICT 機器の授業活用例を紹介する。 ・ICT機器利用のサポート(継続) ウ 英語能力試験などへの意欲喚起を行い、英語会話能力の向上を図る。(継続) ・英語能力試験受験の奨励(継続) ・英語道場(TOEF L)の充実(継続) ・英語インテンシブ研修を発展させた校内留「グローバルリーダー養成プログラム」の実施 ・海外短期留学海外(オーストラリア)語学研修の実施(継続) ・H28年度SETの導入に向けたTOEFL仕様の英語カリキュラムとシラバスの完成。 エ・土曜の午前は、生徒の「学習タイム」とし、講習等を行う(クラブ活動等は午後から) ・「特進ゼミ」を継続し、サポート講習を行う。 ・朝読タイムの意義の再徹底を行い、読解力・集中力の育成を図る。(継続) オ 校内組織「プロジェクト27」での校内の課題整理と将来構想を検討する(継続) | ア 生徒による授業評価における授業満足度75%以上をめざす(H26は74.5%) ・経験の少ない教員は、3教科以上の授業参観を行う。 ・交流研修を2回実施 ・5月上旬までに、授業取組み計画表を作成し共有する。 ・4月までに改定し配布する。 ・「アクティブラーニング」の7月までに職員研修を実施する。 イ ICT機器の授業活用を把握し、利用率50%以上をめざす(H26は、46%) ウ ・英語能力試験受験者数80名以上を維持する。(H26は82名) ・英語道場(TOEF L)の参加者数30名以上を維持する(H26は36名) ・海外(オーストラリア)語学研修の30名以上を維持する(H26は、30名) エ 学校教育自己診断において、土曜の学習タイムを有意義に過ごしている。50%以上をめざす。 オ 「プロジェクト27」の運営状況の把握(週1回の定例の開催をめざす) カ SSHのアンケート質問項目「課題研究を通して科学に対する興味関心が高まった」60%以上をめざす | ア 授業満足度は、79.1% (○) ・教科別の公開授業週間には、外部からの見学者も毎回あり、初任者を中心に自分の教科を含め3教科程度の授業参観を実施(○) ・10年目研修の教員が、ファシリテータとなり7月と12月に実施(○) ・4月「岸高学びのスタイル」を作成し、10月下旬に進捗状況について教科で話し合う。(○) ・「グローバルリーダー人材育成プログラム」(生徒版)作成し、始業式で説明の上、教室掲示。 ・7月に、京都大学高等教育開発推進センター溝上慎一教授による「進学校におけるアクティブラーニング」の表題で職員研修を実施。若手だけでなくベテラン教諭もATに挑戦するようになった。(◎) イ ICT機器の授業活用は、75% (◎) ウ 英語検定 86人 (◎) 英語道場 40人 (○) 海外語学研修 32名参加 (○) 次年度から実施のTOEFLのシラバス完成。(○) エ 土曜の学習タイム 54.8% (○) 朝読タイムは、各クラス担任、副担任による指導、校長の朝の巡視を実施。(○) オ 「プロジェクト27」の週1回開催。(○) カ 興味が高まった 67.8% (○) | |
| | イ ICT機器を活用した教育の充実 | | | | |
| | ウ 英語の運用能力の向上 (継続) | | | | |
| | エ 土曜日の学習タイムと朝読タイムの充実 (継続) | | | | |
| | オ GLHS、SSH事業の効果的な運営をすすめる 校内組織の充実 (継続) | | | | |
| | カ「岸高教育コレクション」の活用 (継続) | | | | |

| | | | | |
|-------------------------------|--|---|---|--|
| <p>2 高い志をばぐくみ、進路実現をめざす取組み</p> | <p>(1) GLHS、SSH事業を活用し、を活用し、興味関心を高める教育活動を提供する (継続)</p> <p>ア 大学研究室見学や大学関係者・科学技術者・企業家等による出前講義・講演等による体験的キャリア教育の進展 (継続)</p> <p>イ SSH研究の国際化</p> <p>ウ 課題研究発表などプレゼンテーション能力の育成 (継続)</p> <p>エ グローバルリーダー育成</p> <p>(2) 現役での国公立大学進学者の合格者数を3年後に150人以上、あわせて難関大学や東京方面への受験者増をめざす。(継続)</p> | <p>(1)</p> <p>ア さまざまな分野の調査・研究の課程や分析等に興味関心を持たせる (継続)</p> <ul style="list-style-type: none"> SSH事業と絡めて、大学関係者の出前講義や研究室の見学 (継続) 科学技術者・企業家等による講演 「課題研究」「探求」「総合的な学習の時間」等での社会人講師活用 (継続) JAXA等の研究施設訪問(サイエンスツアー) (継続) SSH集大成として、先輩研究者の基調講演の実施と次期SSHの企画の作成と応募。 <p>イ・SSHの海外調査(ケアンズでの鳥の調査実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> OCWやMOOCS等の検討と導入 姉妹校(台湾)での英語でのプレゼンの継続と英語での研究発表の奨励 <p>ウ プレゼンテーション能力の育成 (継続)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「課題研究」や「国際総合」などの発表 SSH、GLHS関連の研究発表大会の開催 課題研究的な授業を普通科や一般教科の授業で奨励 <p>エ</p> <ul style="list-style-type: none"> 校内留学「グローバルリーダー養成研修」実施 海外短期留学米国グローバルリーダー養成研修の実施 教員研修(グローバル教育) <p>(2) 現役での国公立大学への合格数が増えるよう学校として支援 (継続)</p> <ul style="list-style-type: none"> 高い志を維持させるはたらきかけを進路指導部と学年が工夫する 生徒、保護者への進学説明会の充実 東大・京大・阪大キャンパスツアーの実施 土曜日の学習タイムの充実 学校休業日の学習スペースの開放 長期休業期間の効果的な講習計画 各種業者模試の情報提供 PTAによる支援 | <p>(1)</p> <p>ア SSH事業アンケートにおける満足度を測定し、満足度75%以上をめざす</p> <ul style="list-style-type: none"> 6月までに、集大成の講演会を実施する。 生徒5人が参加する。 2本以上の英語のプレゼンを行う。 <p>ウ 探究発表会での発表本数を70本以上を維持するSSH事業アンケートにおける満足度を測定し、満足度75%以上をめざす</p> <p>エ</p> <ul style="list-style-type: none"> 15人以上が参加する 5月までに実施する。 (保護者向け)学校教育自己診断結果における「国際交流やSSHなど特色ある教育」の満足度の90%以上を維持する <p>(2) 現役での国公立大学合格者数が120人以上をめざす</p> <ul style="list-style-type: none"> (保護者向け)学校教育自己診断結果における進路情報の満足度の90%以上を維持する | <p>ア</p> <p>満足度 77% (○)</p> <p>サイエンスツアーや大学関係者の出前講義等諸項目の実施 (○)</p> <ul style="list-style-type: none"> 38期中家剛京都大学大学院教授(仁科記念賞受賞ノーベル賞梶田教授の共同研究者)を招いて本校のSSH講演会で初の一般公開SSH講演会として浪切ホール全学年を対象に実施。(◎) 5名の参加で実施。希望者は、20名 (○) 台湾修学旅行時とCS(3年)の発表会で英語でのプレゼンを行う。サイエンスでの発表は、アブストラクトのみ英語で行う。(○) <p>ウ</p> <p>発表本数 90本 (◎)</p> <p>満足度 77% (○)</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報や家庭、保健を中心に発表を行う授業やAL型の授業が増えてきている。 <p>エ</p> <ul style="list-style-type: none"> 海外大学米国グローバルリーダー養成研修は、カリフォルニア大学バークレー校で15名で実施。(◎) 5月に北陸科学技術院大学教授川西省吾教授による「グローバル教育」の教員研修実施。(○) 特色ある教育 満足度 92.5% (○) <p>(2)</p> <p>各種継続実施項目実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 現役での国公立大学合格者数が 132人 (○) 進路情報の満足度 88.2% (○) |
| | | | | |

府立岸和田高等学校

| | | | | |
|---|---|--|--|--|
| <p>3 豊かな感性とたくましく生きるための健康と体力をばぐくむ取組み</p> | <p>(1) 学校行事・部活動等の充実を図り、社会貢献の意識を涵養する。</p> <p>ア 学校生活の充実と行事の精選 (継続)</p> <p>イ クラブ活動の奨励 (継続)</p> <p>ウ 社会人としての人権意識・マナーの醸成 (継続)</p> <p>エ 生徒相談機能の充実</p> <p>オ 社会貢献</p> <p>(2) 異文化交流によるグローバル教育を推進する。</p> <p>ア 国際交流、海外修学旅行(台湾)の充実、海外交流校の発掘と交流 (継続)</p> | <p>(1)</p> <p>ア・各行事の精選を行い、文化祭・体育祭・鍛練遠足・合唱コンクール等の行事の充実(継続)</p> <p>・生徒の特別活動意欲喚起のため、岸高グッズの活用 (継続)</p> <p>イ・クラブ活動への入部を奨励</p> <p>・クラブ活動振興のため社会人講師の活用 (継続)</p> <p>ウ・社会人としての人権意識の涵養と生活マナーの向上 (継続)</p> <p>・人権教育の推進のための教職員や生徒への研修の実施 (継続)</p> <p>・挨拶運動をはじめ、定期的な遅刻や服装指導を行う (継続)</p> <p>・生徒相談機能の充実のために組織体制の再編整備を行う</p> <p>・外部のカウンセラーを活用し、精神的ケアの必要な生徒に支援を行う (継続)</p> <p>オ 社会貢献の実践を学び、社会貢献について考えさせる</p> <p>(2)</p> <p>ア・異文化交流によるグローバル教育、海外修学旅行での学校交流の充実と継続 (継続)</p> <p>・各学年分掌に国際交流係(グローバル教育海外交流)担当を設定 (継続)</p> <p>・海外交流校の発掘と交流の推進 (継続)</p> <p>(姉妹校提携などの模索)</p> <p>・海外視察校の受け入れ (継続)</p> <p>・短期留学生の受け入れ (継続)</p> <p>・地域の機関との連携で、交流に多様性を持たせる</p> | <p>(1)</p> <p>ア・行事アンケートの満足度の把握し、満足度80%以上維持をめざす(H26は、96.6%)</p> <p>イ・クラブ活動入部率90%以上を維持する(H26は97%)</p> <p>・(生徒向け)学校教育自己診断結果における学校の満足度80%以上を維持する</p> <p>ウ・生徒への人権アンケートの経年変化により、人権意識の醸成を検証する</p> <p>・総遅刻数を2,000回以下を維持する</p> <p>エ・9月までに再編整する</p> <p>オ・グローバルな社会貢献体験をした大学生との交流を1回以上持つ</p> <p>(2)</p> <p>(生徒向け・保護者向け)学校教育自己診断結果における「国際交流などの特色ある教育活動」80%以上</p> <p>ア</p> <p>・海外からの訪問校を3校以上誘致する</p> <p>・海外の高校との連携校2校目をめざす</p> | <p>ア 行事アンケートの満足度 87.7 % (○)</p> <p>イ クラブ入部率 96.1 %</p> <p>学校満足度 85.8 %</p> <p>ウ SNSの利用の際における人権的配慮を生徒と職員ともに実施した。</p> <p>総遅刻数 2472 回 (△)</p> <p>エ 教育相談と支援教育について、合理的配慮ができる体制を構築し新組織に改編 (○)</p> <p>生徒相談室を改装し、相談の環境整備を行うとともに、SCに加えて週に1回臨床心理士実習生を配置したり希望生徒にコラージュ講座等を実施 (○)</p> <p>オ 11月に、1年生対象に関西学院大学より、4人の海外ボランティア体験大学生を派遣いただいた。(○)</p> <p>(2)</p> <p>「国際交流などの特色ある教育活動」</p> <p>生徒 80% 保護者 92.5 % (○)</p> <p>ア</p> <p>・海外からの訪問は、5回うち、3回台湾・香港・韓国は、高校生。(○)</p> <p>・韓国の学校へ訪問調査実施 (○)</p> |
| <p>4 地域・保護者との連携と環境整備</p> | <p>(1) 学校情報を収集し、地域や保護者に情報を発信する。(継続)</p> <p>ア 全国の教育先進学校情報の収集 (継続)</p> <p>イ 学校Webページや校長ブログによる情報の発信 (継続)</p> <p>(2) 校内環境整備を継続する。</p> <p>ア 学習環境の向上と校内美化の推進</p> <p>イ 地域への貢献を推進 (継続)</p> | <p>(1) 情報発信</p> <p>ア・全国の教育事例の情報収集 (継続)</p> <p>・全国SSH研究発表会への参加 (継続)</p> <p>イ・学校Webページの最新情報の更新 (継続)</p> <p>・メーリングリストによる情報発信 (継続)</p> <p>・「校長かわら版」(ブログ)による情報発信 (継続)</p> <p>・保護者向け講演(大学の教育展望)</p> <p>・岸高レターの発行</p> <p>・生徒研究発表会の保護者や地域への公開</p> <p>(2) 校内環境</p> <p>ア・HR教室のICT機器使用環境の整備</p> <p>・校内緑化</p> <p>・(危機管理)津波・地震時の危機管理体制の再構築と幼稚園との防災訓練の実施</p> <p>イ 地域貢献の継続推進</p> <p>・岸高桜祭の開催、CASTLE RUN(青年会議所)などの地域イベントへの協力</p> <p>・近隣の幼稚園との交流</p> <p>・桜祭を外国の方に広報し交流する。</p> | <p>(1)</p> <p>ア、イ・(保護者向け)学校教育自己診断結果における情報共有満足度90%以上を維持する</p> <p>・メーリングリストの送信回数維持(平成25年度メール一斉送信、年100回)</p> <p>・「校長かわら版」(ブログ)の更新を月20回以上</p> <p>・大学教授による保護者対象講演の実施</p> <p>・岸高レター 2回</p> <p>(2)</p> <p>ア・照度等ICT機器の使用環境整備する。</p> <p>・季節の花がいつも咲いている状態を維持する。</p> <p>・1月までに、幼稚園との防災訓練を実施する</p> <p>イ 桜祭の来校者100人以上をめざす</p> <p>・地域の交際交流機関にはたらきかけ、海外交流団体への桜祭招待を2団体以上行う</p> | <p>(1)ア、イ</p> <p>・情報共有満足度 84.6 % (△)</p> <p>東京を中心に長野岡山の進学実績が伸びている高校7校を視察訪問し、それを基に研修を行い次年度の本校の実践に繋げた。(○)</p> <p>・メーリングリストの送信回数 100回維持 (○)</p> <p>・ブログの更新を 月20回以上維持 (○)</p> <p>・大阪大学副学長による保護者向け講演を実施 (○)</p> <p>・岸高レター 2回発行 (○)</p> <p>・生徒研究発表会の保護者や地域への公開をしている。</p> <p>(2)</p> <p>ア・スクリーンが使用できるように付け替えを行った。(○)</p> <p>・草花や樹木の管理を行い、岸和田城周辺の景観にマッチした良好な環境に保っている (○)</p> <p>・幼稚園児が来校し、4階の家庭科室まで津波を想定した行動を1月に実施した。(○)</p> <p>イ・桜祭の来校者数 408名 (◎)</p> <p>・岸和田市と関西国際交流センターに案内を行う。(○)</p> <p>食育の小学生対象のクッキング教室の開催や老人会や幼稚園との交流を年間通じて複数回実施し地域貢献の推進が行えた。(◎)</p> |